



遠藤守レポート

都議会公明党: 新宿区西新宿 2-8-1 TEL: 5320-7250 / FAX: 5388-1787 <http://endomamoru.com> お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

一般質問、都民目線で多彩な提言

遠藤都議は12月8日の定例都議会で一般質問に立ち、都内の放射線対策、分譲マンションの耐震化、私学支援、都の総合計画——の4テーマで、都側の見解をただしました。質疑の要旨を紹介します。

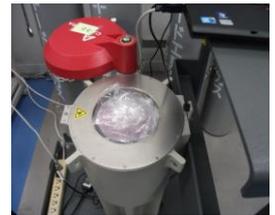


「除染」後の手立て、都区一体で用意を

＜質問＞除染で生じた汚染土壌等を収集、運搬、保管、管理する対応を、都と区市町村一体であらかじめ用意しておくべき。
＜環境局長＞都内の除染については、法や国のマニュアル等を参考とした対応が望ましいため、都は、区市町村等に対し、今後制定される特別措置法の政省令の内容等を速やかに、また、正確に伝えていくなど、支援を行っていく。

悪質な「除染ビジネス」を未然防止せよ

＜質問＞都民の不安や知識不足につけ込んだ、悪質な「除染ビジネス」も横行しかねない。専門業者に対する適切な指導が不可欠と考えるが。
＜環境局長＞都民や事業者に放射能の正しい知識を得ってもらうため、ホームページ等を通じて放射能に係る情報を提供していく。また、都は、被災地支援のため福島県への職員の派遣を行ってきたが、この中で、現地でのモニタリングや除染の経験も蓄積してきている。こうした職員のノウハウも生かしながら、区市町村等への技術支援を行うことを通じて、除染を行う事業者の啓発に努めていく。あわせて、消費者被害を防止する観点から、関係局と連携して除染関連事業者の動向を注視していく。



放射線の数値を正確に測定するのは難しい。写真は食品の放射線を検査する装置【都中央卸売市場提供】。

より安全な水道水のため、万全を期せ

＜質問＞群馬県等では放射性セシウムの値が高く、降雨時には水源への流出が懸念される。各浄水場での実態調査の充実など、浄水プロセスにおける対策に万全を期すべき。
＜水道局長＞水道水は、高精度の測定機により、毎日、検査を行っているが、放射性セシウムはこれまで検出されていない。なお、処理過程で発生した沈でん物は、放射性物質濃度を測定し、基準に適合していることを確認後、埋立処分している。今後も、浄水場の処理過程において、放射性物質に対する万全な対策を、引き続き、実施していく。